

守口市教育委員会の点検・評価に関する報告書 概要版(平成30年度対象)

令和元年9月作成



点検・評価報告書とは？

教育委員会では毎年、前年度の教育行政施策に関する点検及び評価を行い、報告書を作成しています。この報告書は、市民の皆さんに本市の教育行政を知っていただくとともに、次年度以降の教育行政に反映させることを目的に作成するものです。

※「守口市教育委員会の点検・評価に関する報告書」には、「教育委員会の取組み内容」「評価の根拠」「今後の方向性」「図表等のデータ」「用語の意義」等詳しく掲載しており、この概要版は報告書の内容の一部を抜粋して掲載したものです。



評価の目安と結果について

＜評価の目安＞		評価結果 (全49項目)
◎	十分達成できたか、大きな成果が見られたもの	0
○	おおむね達成できたもの	47
△	一部のみ達成できたもの	2
×	達成できなかったか、全く取り組めなかったもの	0



意見・助言をいただいた学識経験者

関西外国語大学 英語キャリア学部

(英語キャリア学科 小学校教員コース) 教授 浦嶋 敏之 氏 (専門：学校教育分野)

関西大学 文学部

(総合人文学科 教育文化専修) 教授 赤尾 勝己 氏 (専門：社会教育分野)



～「教育委員会の点検・評価に関する報告書」
及び「概要版」に関する問合せは～

守口市教育委員会 管理部 総務課

TEL：06-6995-3152 FAX：06-6995-2505



評価一覧

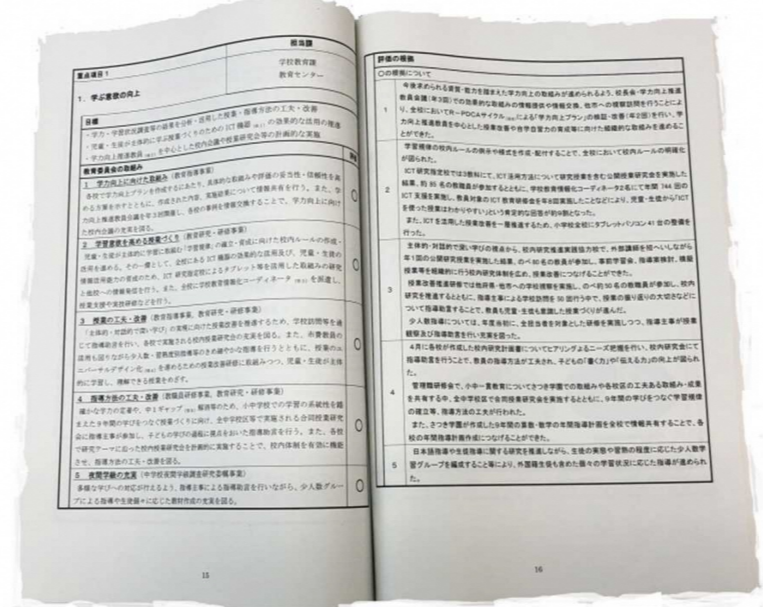
本市教育の5つの基本方針をもとに設定されている重点項目ごとに、学識経験者からの助言を参考に教育委員会が全49項目について評価を行っています。

基本方針1 学力を伸ばす ～一人ひとりの学力の向上と個性・創造性の伸長～	
重点項目1 授業改善の推進	
1 学力向上にかかる取組みの組織的な推進	○
2 学習意欲を高める授業づくり	○
3 9年間を見通した一貫教育の取組み	○
4 指導方法の工夫・改善	○
重点項目2 学習規律と言語能力の育成	
5 言語活動の確立・育成	○
6 言語活動の充実と言語能力の育成	○
7 読書習慣の定着及び読書に親しむための環境整備	△
8 英語でコミュニケーションを図ることができる児童・生徒の育成	○
重点項目3 自学自習力の育成	
9 自学自習力の育成	○
10 生活習慣・学習習慣の改善	○
重点項目4 支援教育の充実	
11 校内支援体制の確立	○
12 配慮を要する児童・生徒に対する人的支援	○
13 効果的な支援を展開できる教職員の資質向上	○
重点項目5 就学前教育・保育との連携	
14 幼・小・中連携の推進	○
15 教職員の指導力向上	○
<学識経験者の意見・助言(抜粋)>	
<p>◇授業改善の推進について、授業での話し合い活動の充実など着実に改善が図られている。大阪府では、全国学力・学習状況調査結果を踏まえ、言葉の力についての課題が打ち出され取組みが進められており、守口市においても、さらに子どもたちの状況を詳細に分析した上で、課題に正対したターゲットを榨った取組みを推進し成果につなげていただくことを期待する。</p> <p>◇自学自習力の育成について、土曜日学習会の実施や長期休業用の学習冊子の作成など、きめ細やかな対応をしており評価できる。特に、課題の大きな子どもに対する様々な支援が充実していることは、学びの保障につながっていると考える。</p> <p>今後とも、学校教育関係部局だけでなく福祉関係部局とも連携しながら、さらにきめ細やかな支援につながるよう、PDCAサイクルによる改善に努め、より効果的な事業となるよう期待する。</p>	

基本方針2 心を育てる ～人権を尊重し、豊かな人間性と社会性の育成～	
重点項目6 人権教育の充実	
16 人権意識の醸成と教職員の指導力の向上	○
17 在日外国人教育の推進	○
18 人権侵害事象とセクシュアル・ハラスメントの防止	○
19 児童虐待への対応	○
重点項目7 道徳教育の充実	
20 道徳教育の推進	○
21 学校・家庭・地域との連携等の充実	○
22 環境教育、郷土の伝統・文化に関する教育の推進	○
重点項目8 生徒指導の充実	
23 生徒指導体制の充実	△
24 不登校対策の推進	○
25 いじめの未然防止・早期発見	○
26 児童会・生徒会等の活性化	○
重点項目9 キャリア教育の充実	
27 キャリア教育の充実	○
<学識経験者の意見・助言(抜粋)>	
<p>◇全校で進めている小中一貫教育は、守口市の特色ある教育であり強みであると考えます。新学習指導要領で強調されている校種間のつながりや社会への接続を意識したキャリア教育の充実についても、その強みを生かした取組みの推進に期待する。</p> <p>◇人権教育については、教職員研修実績からみると、年々高まるニーズに対応できおり評価できる。今後、子どもたちの課題に即した人権の各課題の学習に際しては、しなやかで柔軟性のある心の形成や、困難に立ち向かう姿勢、自分も他人も大事にできる感覚といった基本的な人権感覚を育てるといった視点を大切にしながら、全ての教科において扱っていくことが大切である。</p>	

基本方針3 命を守る ～たくましく生きる健康と体力づくり～	
重点項目10 健康・体力づくりの充実	
28 体力・運動の力、運動習慣の向上	○
29 食育の推進	○
30 感染症等の予防・対応の確立	○
重点項目11 安全・安心な環境づくりの推進	
31 学校の危機管理体制の充実	○
32 学校園の安全管理体制の確立	○
<学識経験者の意見・助言(抜粋)>	
<p>◇水泳指導開始前の全教職員を対象にした救急救命講習会の実施に加え、救急インストラクター(有資格者)の育成など、子どもの命を守る取組の充実にも努めていることは評価できる。今後、救急救命講習会欠席者への追講習を行うなど全員の受講を確認し、引き続き子どもが守る最善の状況を作っていただきたい。</p> <p>◇防災教育について、守口の強みである小中一貫教育の学びの中で、例えば、中学生は自分たちがある意味、守る側でもあるということを理解した上で、1市民としてどんな働きができるのかという視点も含めて、実践的な取組を続けていただきたい。</p>	

基本方針4 学校力を高める ～明確なビジョンを共有した学校経営と教職員の資質向上～	
重点項目12 学校経営の改善	
33 校長の指導力・リーダーシップの発揮	○
34 家庭・地域との連携	○
35 学校の組織力の向上	○
36 小中一貫教育の推進	○
37 学校事務の効率化	○
38 働き方改革の推進	○
39 多様な人材の活用	○
重点項目13 教職員の資質向上・研修の充実	
40 法令遵守の徹底	○
41 教職員研修の充実と指導力の向上	○
重点項目14 教育環境の充実	
42 さくら小学校の開校に向けた取組みの推進	○
43 児童数が増加する学校の規模適正化に向けた取組み	○
44 学校規模の適正化及び学校施設の適正管理	○
<学識経験者の意見・助言(抜粋)>	
<p>◇働き方改革について、着実に取組みが進んでいることがわかる。「働き方改革=子どものための改革」という視点から、先生方がゆとりを持ったことによって、子どもの教育にどうフィードバックできたのが重要であると考えます。今後、働き方改革の進捗を評価するにあたっては、教育活動の充実(先生が子供と向き合う時間が確保できたことで実現した成果)等の視点を取り入れていただきたい。</p> <p>◇学校経営の改善について、ミドルリーダーの育成等、計画通り着実に進んでおり評価できる。</p>	



基本方針 5 生涯学べる社会をつくる

～学びときずなを深め、豊かな心と生きる力、地域力が育つまちの実現～

重点項目 15 社会教育の振興

45 学習機会・情報の提供	○
46 子ども読書活動の推進	○
47 文化・芸術活動の支援	○
48 青少年健全育成活動の支援	○
49 文化財の保存と活用	○

<学識経験者の意見・助言（抜粋）>

◇令和2年4月に開館予定の市立図書館に大きく期待している。市立図書館を核として、子どもたちの読書活動が活発化・充実化する事業を考えていただきたい。

◇改正入管法施行の影響を受けて、本市においても外国人の増加が見込まれる。そうした中で、外国の方々への日本語教育や、障がいを持つ方々の学習支援という観点を意識することが重要である。教育委員会と市長部局がそれぞれ役割分担しながら、そういった方々との共生の実現を生涯学習の分野で目指していけるよう期待する。また、市立図書館の運営を考える上でも、そういった方々の利用しやすさを意識することは重要である。

報告書全体に関する学識経験者の意見・助言（抜粋）

◇全般的には、変化の激しい時代の状況に応じて子どもたちに求められている教育課題について、子どもたちの実態に応じてしっかり取り組んでいることや、その結果について適切に自己点検評価がなされていることが確認できた。

◇点検評価は、教育行政として市民に対して説明責任を果たすという大きな役割がある。そして、市民がその報告書により、自分の市の成果や課題を理解することによって、地元の教育の取り組みに自信を持ったり、課題については学校と協力して取り組んでいこうという思いになったりして、学校現場や地域の元気の源になればと考える。

そのような意味で、来年度に向けて、◎と○の境は何なのか精査・整理をし、◎と評価してもいいところはしっかりと示すべきと考える。その1つの方法として、具体的な到達目標を記載することが考えられる。具体的な到達目標とは言っても、アウトプットの目標もあれば、アウトカムの目標もある。事業の趣旨と目的に応じて適切に判断していただければと考える。

詳細は・・・

「教育委員会の点検・評価に関する報告書

対象年度 平成 30 年度」をご覧ください。

「教育委員会の点検・評価に関する報告書 対象年度 平成 30 年度」は、

文化センター・各コミュニティセンター・本庁1階 総合案内

本庁2階 情報コーナー・本庁6階 掲示板及び事務局各課窓口

に設置しています。

また、市ホームページにも掲載しています。

(<http://www.city.moriguchi.osaka.jp/>)

